

公益財団法人未来教育研究所 平成 28 年度 研究発表大会

平成 28 年 12 月 3 日（土） ホテル北野プラザ六甲荘

I 部 式 典（13:00~13:30）

挨拶

未来教育研究会 会長

渡海 紀三朗 衆議院議員 元文部科学大臣

来賓祝辞

未来教育研究会 相談役

松本 剛明 衆議院議員 元外務大臣



渡海会長からは、教育の重要性と、創設を推進された給付型奨学金制度について、松本議員からは、未来教育研究会が発展してきたことへのお祝いの言葉をいただきました。

第 6 回 研究助成採択者発表

未来教育研究所理事長

京都大学教育学研究科長・

教育学部長 高見 茂 教授

理事長より、平成 28 年度の審査を経て採択された、第 6 回未来教育研究所研究採択者（12 件）の発表がありました。



研究所活動報告および米国訪問研修報告

未来教育研究所研究開発局長 高見 砂千



平成 28 年度の研究所の取組紹介と、米国訪問研修の概要の報告を行いました。



Ⅱ部 研究助成の研究成果発表（14：00～16：00）

第5回（平成27年度）研究助成の研究成果発表

<p>・ A会場 （レモンバーム・イースト）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆国際バカロレア教育の非導入校に対する汎化可能性の検討 ◆グローバル社会における判断力及び意思決定能力を育成する社会科授業の構築 ◆3つのチャレンジに挑む英語教育 <ul style="list-style-type: none"> －ある SGH 採択校の英語教育の軌跡と未来－ ◆高校学校におけるシティズンシップ教育の展開 <ul style="list-style-type: none"> －社会的自立の基盤を育成する教育実践Ⅱ（政治活動に関する教育）－
<p>・ B会場 （ローズマリー・イースト）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高校生におけるバレーボールゲーム分析の妥当性と運動部活動の意義に関する考察 ◆美術鑑賞教育を通じた学びの構築 <ul style="list-style-type: none"> －教科横断型の学び－ ◆「共助力」育成を目指した防災教育 <ul style="list-style-type: none"> －助けられる側から助ける側になる力の育成－ ◆臨時休校の基準について <ul style="list-style-type: none"> 気象警報発表時の対応（兵庫県の高校を事例として）
<p>・ C会場 （ローズマリー・ウエスト）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域を理解し、地域社会に主体的に貢献しようとする技術者を育成するための指導の在り方 ◆民間企業による教育支援の実態と効果に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> －英国のアカデミー制度を題材に－ ◆味覚修飾植物を用いた科学的見地に基づく味覚教育 ◆日本における単位認定型高大接続プログラムの効果的な実施形態の検討－米国の AP プログラムと Dual Enrollment を参考にして－
<p>・ D会場 （オリーブ）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育におけるタブレット端末の効果的な活用と組織的な管理の両立について ◆特別支援学校（肢体不自由）における自立活動の視点を用いた外国語活動の研究 ◆学区拡大に対応した保護者と教師間での連携した生徒指導を行うための「学年通信・学級新聞」の効果的表現法及び活用法に関する研究

Ⅲ部 情報交換会（16：15～17：20）

本日の発表を終えた第5回研究採択者の皆さんを囲み、なごやかな雰囲気の中で交流・情報交換を行いました。研究過程のエピソードや、今後の見通しなど、それぞれのお話をうかがい、とても盛り上がりました。

